

## “進化する学術情報環境と図書館の未来”

拝啓 日頃より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。電子化が急速に進む中、まさに図書館の存在意義が問われようとしています。この度、世界的に活躍されている3名の講師をお招きし、米国等での図書館活動の事例をご紹介いただきながら、日本の図書館が進むべき将来像を考えるための国際セミナーを開催致します。講師である OCLC Jordan 会長兼 CEO は 2012 年 6 月で引退されるという報道がなされております。今回は引退前の日本での貴重な講演になります。多数のご来場をお待ち申し上げます。 敬具

・開催日時：2011年10月20日（木）

13:30～17:00 講演及び意見交換会（13:00 受付開始）

・会場：早稲田大学大隈記念講堂小講堂 ・共催：株式会社紀伊國屋書店、OCLC ・後援：早稲田大学図書館

・講師紹介 \*講演は英語で行われますが、逐次通訳を行います。

■ Brian E. C. Schottlaender (Dean of Libraries at the University of California, San Diego)



ブライアン・ショットラガー氏  
(UCサンディエゴ図書館長)

1999年よりカリフォルニア大学サンディエゴ校図書館館長。同氏の指揮の下、サンディエゴ図書館は世界トップレベルのコレクションと独創的なサービスを構築し、電子化および電子資料保存へ向けた最先端技術の開発・導入で傑出した業績を残している。サンディエゴ校は南加州で最初に Google 社と電子書籍化のパートナーとなり、同図書館は 30 大学を包括する国際コンソーシアム PDLA (Pacific Rim Digital Library Alliance) の拠点として活動している。同氏はサンディエゴ・スーパーコンピュータセンターの執行委員、OCLC 評議会委員、大学コンソーシアム Hathi Trust の執行委員等を歴任。2007 年に全米図書館協会 (ALA) より Ross Atkinson Lifetime Achievement Award、2010 年に Melvil Dewey Medal を受賞している。

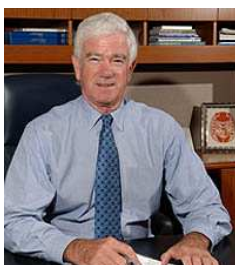
■ Rush G. Miller (Director, University Library System at University of Pittsburgh)



ラッシュ・G・ミラー氏  
(ピッツバーグ大学図書館館長)

1994年よりピッツバーグ大学図書館館長、情報学大学院教授を兼任。就任以来、ピッツバーグ大学図書館コレクションを倍増し、すべての施設・設備を改装、最新化し、D-Scribe(ディー・スクライブ)と名づけたオープン・アクセス・パブリッシング・プログラムなど情報テクノロジーの革新的用途開発に取り組んでいる。くわえて中国、台湾、韓国の主要大学・研究所と提携し、世界中の研究者に中国、韓国の資料を提供するゲートウェイ・サービスを開始。入手困難な資料へのアクセスを大幅に改善したグローバル・リソース・シェアリングのモデルケースとして、2011年に中国系アメリカ人ライブラリアン協会から功労賞を授与された。

■ Jay Jordan (OCLC President and Chief Executive Officer)



ジェイ・ジョーダン氏  
(OCLC 会長兼 CEO) (OC

1998年5月より第4代目のOCLC会長兼CEOに就任。就任後、OCLCの参加館は30,000館から72,000館(内、米国外の参加館は64か国3,200館から170か国16,215館)へと拡大し、WorldCatに登録された書誌数は3,800万件から2億3,600万件へと増加した。その間、OCLC Connexion、QuestionPoint、WorldCat.org、WorldCat Local、OCLC Web-scale Management Services、等のサービス・製品をリリースし、Western Library Network (WLN)、Research Library Group (RLG)、EZProxy、の機関等との統合を実現した。OCLCの日本でのユーザー数は、現在200機関を超えており、国立国会図書館もOCLCにJAPAN/MARC全件500万レコードを搭載するなど、日本の国際化にも貢献してきている。

## ■参加資格

図書館関係者、図書館経営に関心をお持ちの方（参加無料）

## ■定員 250名

定員に達した場合、締め切る場合がございます。お早めにお申し込み下さい。

## ■会場案内

・場所:早稲田大学「大隈記念講堂小講堂」

東京都新宿区西新宿 1-6-1

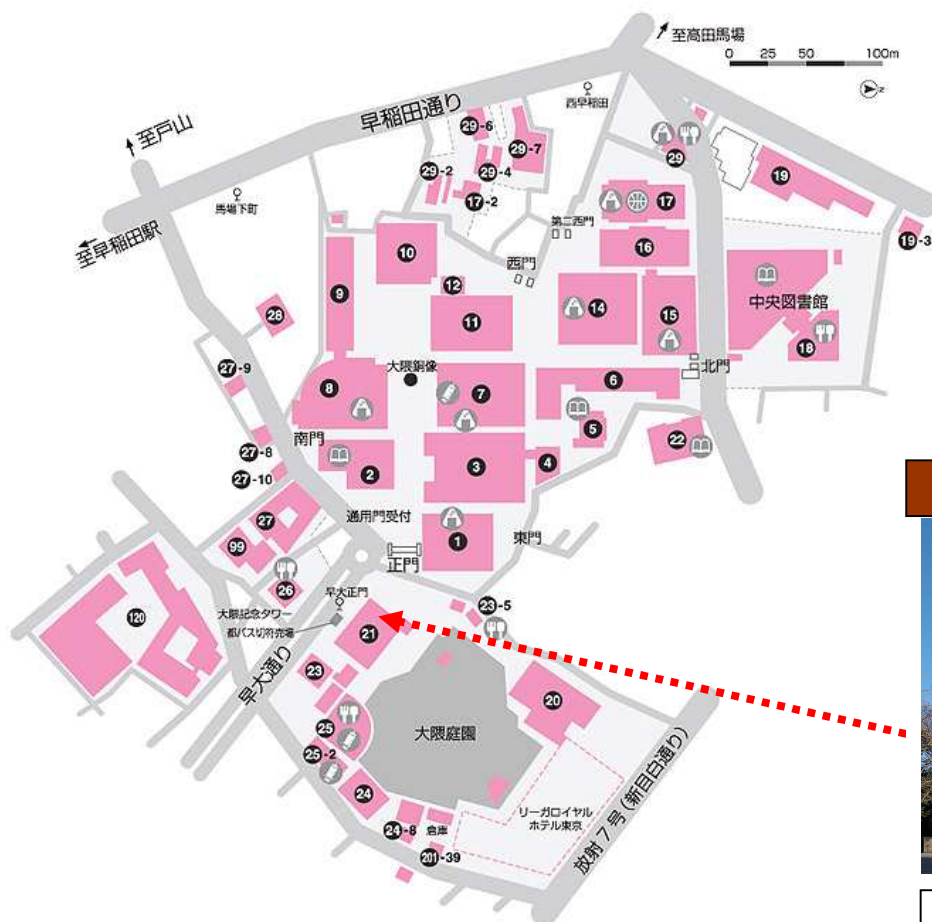
<http://www.waseda.jp/campus/waseda.html>（下図参照下さい）

## ・交通アクセス

高田馬場駅より早大正門行きバス「西早稲田」下車 徒歩3分

地下鉄東西線「早稲田」駅より徒歩10分

都電「早稲田」駅より徒歩2分



早稲田大学大隈記念講堂小講堂



地下1階が会場の小講堂となります

# 紀伊國屋書店 OCLC センター行き

2011 年 8 月

## 2011 年 図書館国際セミナーへの参加申込書

お申込方法：以下にご記入の上、担当窓口宛て FAX にてお申込ください。  
席に限りがございますので、お早めにお申し込みいただければ幸いです。

**お申込先 FAX 番号**： **03-6420-1356** (紀伊國屋書店 OCLC センター)

**※申し込み締め切り**： **2011年10月7日(金)**

ご機関名	部署名	ご氏名 (フリガナ)
		( )
電子メールアドレス	お電話番号	FAX 番号

ご連絡いただいた上記個人情報は、今回のセミナーにのみ使用し、それ以外の目的では使用いたしません。  
情報の管理は、「株式会社紀伊國屋書店」が行い、第三者への開示・提供を一切いたしません。

※ お問合せ先

紀伊國屋書店 OCLC センター

電話：03 (6910) 0516

eMail：[oclc@kinokuniya.co.jp](mailto:oclc@kinokuniya.co.jp)

《参考》OCLCについて

---

OCLC Inc. は、情報へのアクセスを促進するために、1967 年に米国オハイオ州で創設された図書館相互協力を目的としたメンバー制非営利団体で、世界 170 カ国・地域の約 72,000 館の図書館が参加・利用しています。40 数年間に渡って蓄積された共同目録 WorldCat は、世界最大の書誌データベースであり、OCLC が誇る最大の財産となっています。WorldCat では世界中の参加図書館で所蔵されている書誌情報が検索できるほか、インターネット上の情報資源についても検索ができます。日本では 1986 年から紀伊國屋書店が国内唯一の代理店として、OCLC の各サービスを国内の図書館に提供しています。

---